

**地域活性化に向けた
JAくらしの活動実践事例
【Vol. 5】**

令和4年2月



宮城県農業協同組合中央会



JAグループSDGs取組宣言

わたしたちJAグループは、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に賛同し、その達成に向けて、事業・活動に取り組みます。

JAグループは「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」として、組合員の皆さんの声に応えながら、不断の自己改革への取り組みを通じて、持続可能な地域農業・地域社会づくりに取り組んできました。今後はさらに、わたしたちの事業や活動が与える多面的な影響にも配慮しながら、地球的視野に立ち、地域社会を構成する一員として、組織・事業・経営の革新をはかり、社会的役割を誠実に果たします。JAグループは、各々の置かれた環境を踏まえて、SDGsの達成に向けて取り組んでいきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA仙台】



宮城県内JA紹介



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：仙台市宮城野区新田東2丁目15-2
- 組合員数：33,491人
（正組合員11,575人、准組合員21,916人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 2,916.1億円
 - ・貸出金残高 1,007.7億円
 - ・長期共済保有高 8,418.1億円
 - ・購買品供給高 13.6億円
 - ・販売品販売高 40.7億円

II. 主な取り組み概要

親子農業体験ふあむふあむ

「ふあむふあむ」とは、ファミリーとファームを掛け合わせた造語です。新型コロナウイルス蔓延以前は、米栽培や野菜栽培体験等一連の農業体験を通じ消費者に「農業」の大切さや、「食」がもつ多様な役割を伝える農業体験「あぐり塾」を行っておりました。コロナ禍で学校も休校となり、おうち時間が増える中、大空の過密を避け家族単位で現地集合・解散できる農業体験「ふあむふあむ」を企画し、JA仙台



ホームページや直売所にチラシを置き募集、年3回計17組48人の親にご参加頂きました。

第1回目8月8日（日）枝豆収穫

第2回目10月9日（土）梨狩り

第3回目12月11日（土）シイタケ狩り ▲枝豆採っちゃうぞ～

を行い、
生産者より栽培

▲「下から片手でしっかりと持って、そのまま横から上へひねるように持ち上げたら採れるから」

「うん、わかった」超真剣です。

組んでいました。

農業体験をとおして「食」と「農」の魅力を感じていただけたのではないのでしょうか。

方法や品種、調理や保存方法、収穫の指導を受けながら慣れない作業にも、みなさん笑顔で取り



▶ しいたけ取れた！



地域活性化に向けたJAくらしの活動

【JA岩沼市】

I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：岩沼市中央二丁目 5-30
- 組合員数：3,895人
（正組合員 340人、准組合員 3,555人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 330.5 億円
 - ・貸出金残高 110.3 億円
 - ・長期共済保有高 506.4 億円
 - ・購買品供給高 1.4 億円
 - ・販売品販売高 3 千万円

宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

地域貢献活動

令和3年12月3日、JAの地域貢献活動として岩沼市社会福祉協議会様に「岩沼産ひとめぼれ5キロ」（120袋）を寄贈させていただきました。

今後、岩沼市社会福祉協議会を通じて年末助け合い活動に役立てていただくことになりました。

社会福祉協議会森会長からは「このような寄贈は社協事業にとっても大変助かる」とのお言葉を頂きました。

JA岩沼市は今後とも地域貢献活動に取り組んでまいります。



▲年末助け合い活動「地域共生社会を目指して」



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA名取岩沼】

4 質の高い教育を
みんなに



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：名取市増田一丁目 12-36
- 組合員数：6,583人
（正組合員 4,678人、准組合員 1,905人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 543.1 億円
 - ・貸出金残高 154.8 億円
 - ・長期共済保有高 1,883.3 億円
 - ・購買品供給高 15.7 億円
 - ・販売品販売高 31.3 億円

宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

担い手育成支援で農業大学校へ農業機械を寄贈

JA名取岩沼は、地域農業の振興と担い手育成支援の一環として、宮城県農業大学校へ実習用の農業機械を寄贈しました。

令和3年11月19日、JAの根深雅美組合長が名取市の同校を訪れ、金岡裕司校長に目録を手渡しました。寄贈したのは農業用の管理機1台とアタッチメントなどの付属品17品。

寄贈はJA共済地域活性化活動助成金を活用したもので、根深組合長は「後継者育成の一助となってほしい」と期待しました。金岡校長は「実習で大いに活用し、農業の魅力を伝えながら1人でも多く新規就農するよう努めていきたい」と感謝しました。

寄贈した管理機などは、主に同校園芸部の実習で使われています。



▲未来の農業を担う方のために！



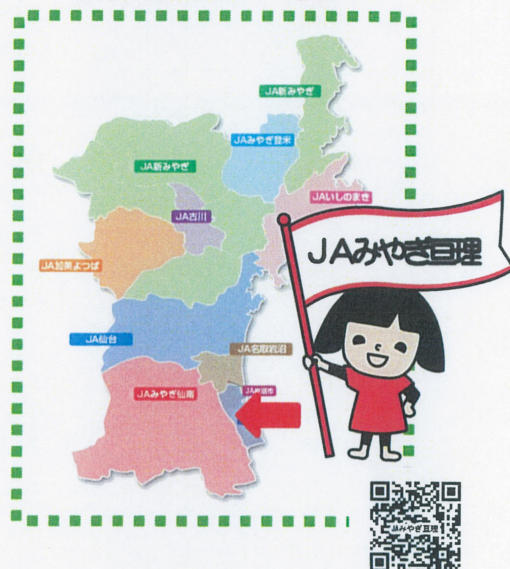
地域活性化に向けたJAくらしの活動

【JAみやぎ亘理】

I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：亘理郡亘理町逢隈田沢字遠原 36
- 組合員数：5,814人
（正組合員 3,806人、准組合員 2,008人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 637.2 億円
 - ・貸出金残高 79.8 億円
 - ・長期共済保有高 1,731.9 億円
 - ・購買品供給高 15.7 億円
 - ・販売品販売高 54.4 億円

宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

第2回農家市「お米・いちご・くだもの市」



JAみやぎ亘理は11月27日、農家による秋の農産物の即売を通し准組合員など地域住民との交流を深めることを目的に、日頃のJA活動に対するご理解とご協力に感謝の意を含め亘理山元いちご選果場で「第2回農家市わたり産お米・いちご・やさい・くだもの市」を開催しました。

イベントでは、亘理産のイチゴ「もういっこ」「とちおとめ」「にこにこベリー」を先着500名と環境保全米の「ひとめぼれ」「つや

姫」のおにぎりセットを先着300個無料配布や18ブースの生産者が出店。特産の野菜・果物の他にも加工食品等が販売されました。

▲先着500名の亘理産イチゴをゲットした来場者と人気のゆるキャラ「わたリーナ」

また、昨年も大好評だった「模擬せり」では、参加者は不慣れながらも旬の野菜や果物を落札、本物のせりをイメージし満喫。特別ゲストのこおり健太さんのライブには遠方から来た方もいるなど、イベントには約1,000名が来場し盛り上がりました。



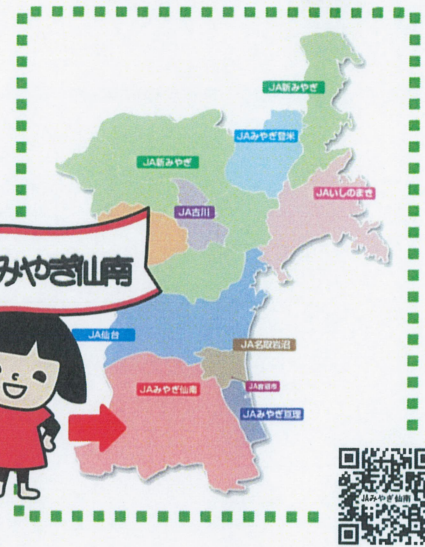
巨理特産シクラメンを競り落とす来場者▶



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JAみやぎ仙南】



宮城県内JA紹介



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：柴田郡柴田町西船迫一丁目 10-3
- 組合員数：28,469人
（正組合員 16,556人、准組合員 11,913人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 1,250.8 億円
 - ・貸出金残高 373.1 億円
 - ・長期共済保有高 5,607.4 億円
 - ・購買品供給高 44.0 億円
 - ・販売品販売高 86.7 億円

II. 主な取り組み概要

エコキャップアートに挑戦！JAこども大学「SDGs 教室」

エスディージーズ

JAみやぎ仙南は子ども達の「地域の学びの場」として、昨年に引き続き年2回のカリキュラムでJAこども大学の2期生を募集。令和3年8月7日、JAこども大学2期生の第1回講義としてエコキャップを使用した巨大壁画とマグネットづくりを通してSDGsを学ぶ機会をと「SDGs教室」を開催しました。

当日は親子合わせて27名が参加。オリエンテーションとして、

SDGsの17項目の目標の中から、子ども達がすぐにでも取り組める内容の3項目を抜粋しクイズを出題。その3項目について自分たちに出来ることを参加者がグループ内で話し合った後、当JAですすめているエコキャップ回収運動のPR兼ね、1,600個のエコキャップを使用し150センチ四方のエコキャップアートを作成しました。1人1枚パーツの図面（エコキャップ64個）を担当し、計25枚を1枚に結合させると完成した壁画の迫力に歓声が上がりました。



▲協力してキャップ探し



▲もうすぐ完成です

完成です



▲エコキャップ1,600個使用の超大作



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA古川】



宮城県内JA紹介



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：宮城県大崎市古川北町三丁目 10-36
- 組合員数：10,681人
（正組合員 8,249人、准組合員 2,432人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 638.9 億円
 - ・貸出金残高 233.0 億円
 - ・長期共済保有高 2,048.1 億円
 - ・購買品供給高 23.9 億円
 - ・販売品販売高 55.3 億円

II. 主な取り組み概要

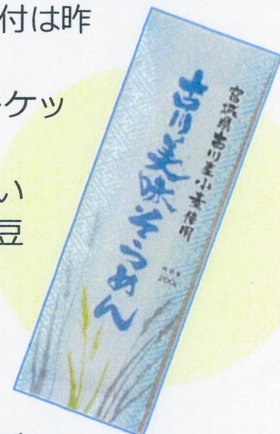
「枝豆上手に育ててね」栽培セット配付し交流

令和3年6月23・24日の両日、組合員や地域住民を対象に枝豆プランター栽培セットを無料配付しました。野菜栽培を通じて食と農に対する興味を喚起するとともにJA組織基盤の強化に向け准組合員加入などを目指していきます。無料配付は昨年続き2回目となります。

広報誌や地元紙の他、JA産直組織のインショップがあるスーパーマーケットなどにチラシをおいて希望者を募集し、162名の応募がありました。

当初、80セットの予定でしたが、コロナ禍で「おうち時間」が増えていることを考慮し、応募者全員に配布。セットにはプランター、培養土、枝豆種子、肥料、栽培マニュアルが含まれます。又、事前に配付していたアンケートの回答者には、JA管内産小麦を使用した「古川美味そうめん」をプレゼント。

応募者は「農家でないとJAとの接点がなかったが今回を機に、JAは身近な存在だと実感できた。今後もイベントがあれば参加したい」と話されました。



▲ぼくとわたしと枝豆プランター▲



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA加美よつば】

11 住み続けられる
まちづくりを



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：加美郡色麻町四竈字爪木町 14-1
- 組合員数：7,421人
（正組合員 6,366人、准組合員 1,055人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 529.1 億円
 - ・貸出金残高 117.9 億円
 - ・長期共済保有高 2,092.4 億円
 - ・購買品供給高 35.6 億円
 - ・販売品販売高 72.9 億円

宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

歩いて地域への奉仕活動 ～美化ウォーキング～

JA加美よつば女性部色麻支部は令和3年5月21日、色麻町の花川河川敷周辺で奉仕活動を楽しもうと美化ウォーキングを行いました。女性部員19名が参加し、ゴミ拾いをしながら約2kmを1時間かけて歩きました。

同支部では例年、福祉施設への奉仕活動や手芸教室などを行っていますが、コロナ流行以降は活動が難しくなっていました。そこで、屋外で三密を避けながら、外出自粛での運動不足を解消し、奉仕活動も行おうと美化ウォーキングを実施しました。一昨年に続き今回が2回目。



▲色麻支部女性部の皆さん



参加者は「雨も降る中の活動だったが、ゴミをたくさん拾えて良かった」「普段は車の移動ばかりなので、自分の足で歩いてみると町の新しい発見があり、楽しかった」と話されました。

同じく女性部小野田支部は11月12日、加美町のやくらいリゾート周辺で美化ウォーキングを初めて実施。女性部員、JA職員合わせて28名が参加しました。

◀小野田支部女性部の皆さん
ありがとうございます



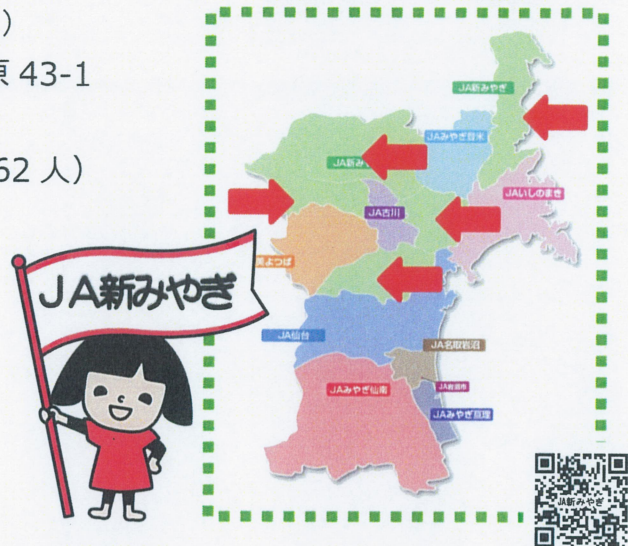
地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA新みやぎ】



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：栗原市築館字照越大ケ原 43-1
- 組合員数：50,100人
（正組合員 35,138人、准組合員 14,962人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 3,447.2 億円
 - ・貸出金残高 726.0 億円
 - ・長期共済保有高 14,311.5 億円
 - ・購買品供給高 119.08 億円
 - ・販売品販売高 290.5 億円

宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

スマホ身近に感じて

ここですよ

あら〜どこ
押すのかしら？

JA新みやぎは令和3年12月22日、組合員や地域住民にスマホを身近に感じてもらうと小牛田駅前支店でスマホ体験教室を開催しました。当日はソフトバンクの担当者を講師に招き、午前と午後の2回開催し、計25人が参加しました。

午前の部はスマホ初心者向けで、写真の撮り方や地図・防災マップなどのアプリを使用して操作の基本を学び、午後の部では、QRコードの読み取り、YouTube（ユーチューブ）の検索などアプリ活用方法について学びました。

参加者は「楽しく学ぶことができた。自分のスマホにアプリを入れて使ってみたい」、「LINEでも、グループでビデオ通話をしたり、自分の顔にスタンプをつけたり、スマホって面白いと思った」と話されました。

JA新みやぎでは、今後も組合員や地域住民を対象としたスマホ体験教室を開催する予定です。

では、スマホで写真を
撮ってみましょう

使い方が不安だったから、教えてもらえてよかったわ〜



▲同じ質問 10回聞いても大丈夫！

それがスマホ教室の良いところ！安心です。



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA新みやぎ みどりの地区本部】



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：栗原市築館字照越大ケ原 43-1
- 組合員数：50,100人
（正組合員 35,138人、准組合員 14,962人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 3,447.2 億円
 - ・貸出金残高 726.0 億円
 - ・長期共済保有高 14,311.5 億円
 - ・購買品供給高 119.08 億円
 - ・販売品販売高 290.5 億円



宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

地域の仲間と共に！

JA 新みやぎ みどりの女性部は、新型コロナウイルス感染拡大により、各種イベントが中止となっていましたが、何かできないかと役員会で協議し、感染者の減少傾向にあり、屋外でできる、花の寄せ植え講習会を美里町にある渋谷フラワーより講師を迎え、令和3年11月に開催しました。

葉牡丹やガーデンシクラメンなど5種類を選び、寄せ植えの方法や管理のコツを学びました。

参加者は、「数種類の花の中からバランスを考えて選ぶのが難しかったが、花を見ていると心が明るくなる。出来上がった寄せ植えは長く楽しめるように手入れしたい。」また、「久しぶりにみんなと会えて楽しかった。新型コロナウイルスが早く終息し、前のように活動がしたい。」と話していました。

今後の活動についても、部員同士、地域との交流を深め、楽しめることを企画し、活動をしていきます。

換気ばっちり▶



▲素敵な出来上がり



▲久しぶりに楽しく活動



地域活性化に向けたJAくらしの活動

【JA新みやぎ 栗っこ地区本部】

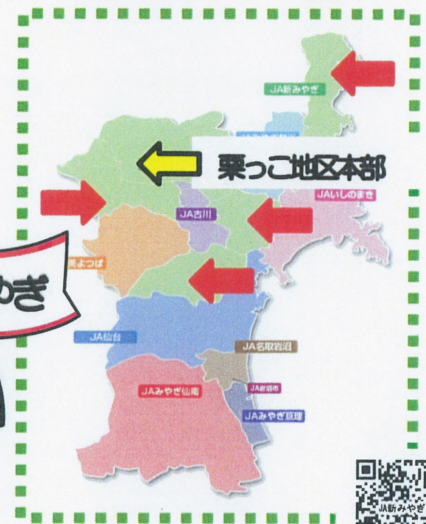


I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：栗原市築館字照越大ケ原 43-1
- 組合員数：50,100人
（正組合員 35,138人、准組合員 14,962人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 3,447.2 億円
 - ・貸出金残高 726.0 億円
 - ・長期共済保有高 14,311.5 億円
 - ・購買品供給高 119.08 億円
 - ・販売品販売高 290.5 億円



宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

「食育」から学ぶSDGs

JA新みやぎ栗っこ地区は、市内の幼稚園・小学校を対象に女性部の協力をいただきながら「食農・食育支援」事業を行っています。野菜の苗の定植・収穫・クッキング、大豆の脱穀まで、季節を通して作物を育てる大変さや命の大切さを子供たちと一緒に学んでいます。コロナ禍ではありますが、トマト苗と食農教育をすすめる子供雑誌「ちゃぐりん」を贈呈しました。

「自分たちの畑で、自分たちの手で育てる、安全・安心な農産物を育て食す事、これからの未来ある子供たちの健康を守る取り組みを持続可能なものにするために、JAと地域住民の繋がりを一層強固なものにし、時代の変化と共に伝えていかなければならない。」

そんな私たちの思いや願いがつまっています。



▲みんなの思い受け取ったよ！



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA新みやぎ 南三陸地区本部】

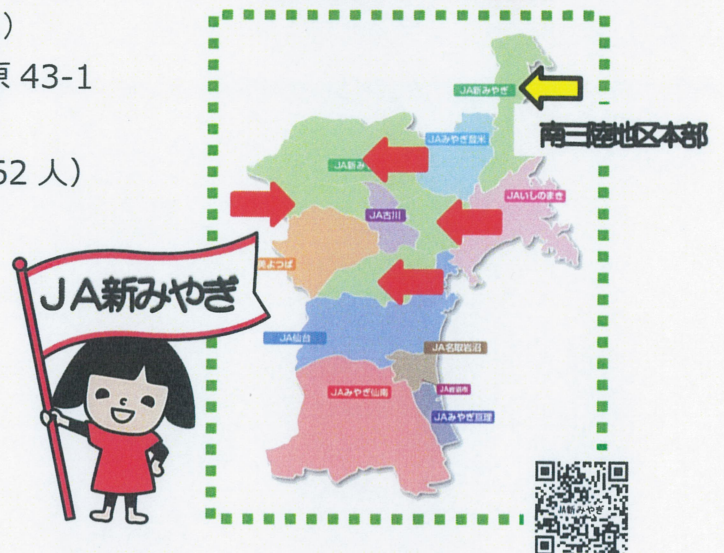
11 住み続けられる
まちづくりを



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：栗原市築館字照越大ケ原 43-1
- 組合員数：50,100人
（正組合員 35,138人、准組合員 14,962人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 3,447.2 億円
 - ・貸出金残高 726.0 億円
 - ・長期共済保有高 14,311.5 億円
 - ・購買品供給高 119.08 億円
 - ・販売品販売高 290.5 億円

宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

花を贈る活動

JA新みやぎ南三陸女性部は令和3年10月、各支部の部長をはじめ部員と共に、地域貢献活動の一環として、気仙沼市や南三陸町の各公共機関に、花を植えたプランターを寄贈しました。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大による暗いニュースが続き、女性部活動を自粛していた所ですが、少しずつ感染対策をしながら、コロナ禍でもできる新しい活動の仕方を模索してきました。

プランターの寄贈は、地域の交流の中で、生活に彩りを添える手伝いができたらとの願いを込めて送らせていただきました。当日はマスクをつけての写真撮影となりましたが、表情はにっこり皆笑っており、とても幸せを感じる試みでした。

今後も地域の方に喜んで頂けるような活動を継続していきたいと思っております。



▲マスクの中は、笑顔がいっぱい



▲みんな目元が笑っています



地域活性化に向けたJAくらしの活動

【JA新みやぎ あさひな地区本部】



宮城県内JA紹介



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：栗原市築館字照越大ケ原 43-1
- 組合員数：50,100 人
（正組合員 35,138 人、准組合員 14,962 人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 3,447.2 億円
 - ・貸出金残高 726.0 億円
 - ・長期共済保有高 14,311.5 億円
 - ・購買品供給高 119.08 億円
 - ・販売品販売高 290.5 億円

II. 主な取り組み概要

「にじ色アラカルト講座」開講！

JA新みやぎあさひな地区本部は令和3年度「にじ色アラカルト講座」を開講しました。

4年目となる今年度は、洋菓子作りや焼き肉のタレ作りなど年に7回料理教室を実施しています。JAファンづくりや仲間づくり、食に興味・関心を深めてもらうことを目的に実施。参加者の口コミや7つの講座から希望する講座を選択し申し込めることなどから、



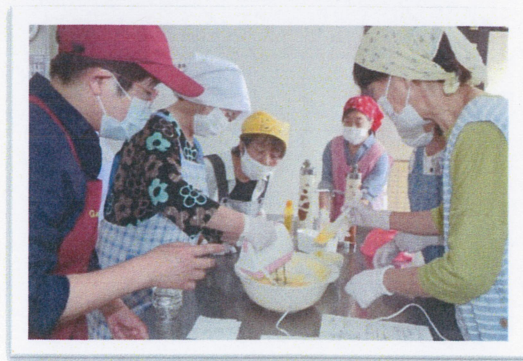
▲開催の要望が多かった
梅干し作り



▲フードコーディネーター
に学ぶ料理教室

参加希望者が年々増加し、募集開始2日目には定員に達しました。同地区本部管内在住のJAと関わりが少ない組合員家族や非農家を主なターゲットにしています。また、昨年度参加者からの要望を受け今年度は定員を増やして募集し、2部制、3部制で実施しています。1回目となる令和3年6月17日には受講生39人が参加し、新型コロナウイルス対策を講じながら洋菓子作りを実施しました。大和町鶴巣の「ケーキ屋ガーデン・スタッフ」の二瓶香美さんを講師に招き、ポイントを教わりながら、バスク風チーズケーキを作りました。参加した受講生は「家でも作って家族に振舞いたい」「他の回にも申し込んでいるので今から楽しみ」と笑顔で話しました。

今年度は新型コロナウイルス感染対策として、全ての回で出来上がった料理は試食会をしないで、持ち帰りとなりました。



▲洋菓子作り



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA新みやぎ いわでやま地区本部】

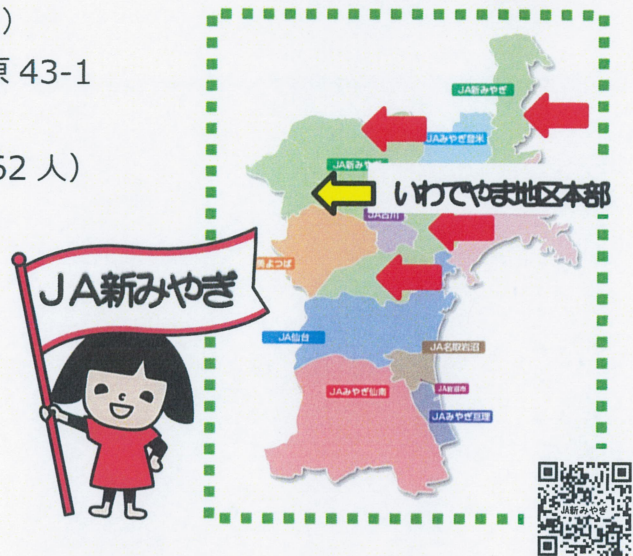
11 住み続けられる
まちづくりを



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：栗原市築館字照越大ケ原 43-1
- 組合員数：50,100人
（正組合員 35,138人、准組合員 14,962人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 3,447.2 億円
 - ・貸出金残高 726.0 億円
 - ・長期共済保有高 14,311.5 億円
 - ・購買品供給高 119.08 億円
 - ・販売品販売高 290.5 億円

宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

地域住民を交えた料理教室の開催

JA 新みやぎいわでやま女性部は令和3年7月13～14日、いわでやま地区本部2階調理室にて料理講習会を開催。部員と地域住民併せて両日で29名が参加しました。内容は「焼き肉のたれ・丼用たれ」と、地元産の味噌を隠し味に入れ大豆をトッピングした「がんづき」作りです。たれは長期保存がきき、焼き肉のたれは常温で1年間保存ができます。このみ酢を加えオリジナルのドレッシングにもアレンジができます。

作業中は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各調理台で作業をする人数を5人とし、マスク着用手洗い手指の消毒を徹底しました。

参加した女性部員は「新型コロナウイルスの影響で外出を自粛する中、待ちに待った活動だった。外での食事が難しいなか、おいしいたれで外食気分を味わいたい。家庭にある材料で作れるレシピで、おやつ代わりにがんづきを孫と一緒に作りたい。」と話されました。



▲おいしいたれで外食気分を味わうぞ～



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JAみやぎ登米】



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：登米市迫町佐沼字中江3丁目9-1
- 組合員数：15,416人
（正組合員12,681人、准組合員2,735人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 1,428.6億円
 - ・貸出金残高 329.9億円
 - ・長期共済保有高 5,280.6億円
 - ・購買品供給高 85.3億円
 - ・販売品販売高 171.1億円

宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

アクティブメンバーシップの広がりを目指す

JAみやぎ登米では、組合員や利用者を対象に各事業所で実施している「お客様感謝デー」などのくらしの活動に加え、JAファンづくりの一環として、登米市内外の消費者なども対象にした「みやとめさんキャラ弁コンテスト」（みやとめさんはJAマスコットキャラクター）を令和3年11月に開催しました。

組合員をはじめ地域住民や消費者などの幅広い世代に、キャラ弁づくりを通しながら、同JA産農畜産物を再認識してもらい「地産地消」や「消費拡大」、JAのPRやイメージアップの向上を目的に「みやとめさん」をさまざまな視点で、JAのPRなどに生かすプロジェクト。「MTS（MIYO TOMESAN：みやとめさん）女子製作所」の若手女子職員メンバー5人が企画及び運営しました。

市内外から応募のあった93点を審査し、各入賞作品20点を選出。専用サイトやHP、SNSなどで結果発表を行ったほか、広報誌で特集ページを組むなど、応募から結果発表までの一連の流れも広報に活用。応募者によるSNSでの拡散も合わせ「食と農」に取り組む「JAの役割」を発信することが出来ました。



「みやとめさんキャラ弁コンテスト」
かわいらしい作品がいっぱいです▶



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JAいしのまき】

4 質の高い教育を
みんなに



I. JAの概況（令和3年3月末現在）

- 本店所在地：石巻市中里五丁目1-12
- 組合員数：17,371人
（正組合員数9,463人、准組合員7,908人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 1,643.7億円
 - ・貸出金残高 501.4億円
 - ・長期共済保有高 5,699.3億円
 - ・購買品供給高 48.4億円
 - ・販売品販売高 116.3億円

宮城県内JA紹介



II. 主な取り組み概要

地域に定着した食農教育活動を

JAいしのまきでは、地域農業の振興と未来ある子どもの健やかな成長を育むため、組織の垣根を超えた取り組みを長期に渡り行っています。矢本地区青年部・女性部・笑菜会（フレッシュミズ会）が主体となり、行政にも協力をいただきながら「わんぱく探検アグリスクール」を開校しています。開校式には東松島市長をはじめ教育委員会教育長も参加し、地域全体で食や農について学ぶ環境づくりを行っています。

このスクールでは、サツマイモや大根・白菜など野菜の植え付けから収穫そしてそれを食べるまでを体験し、栽培の大変さや楽しさ、食べられることのありがたさと美味しさを学びます。閉校式では地場産のもち米を使った餅つきを行い、参加者が育てた野菜をふんだんに入れた雑煮を食べ、今年度の活動を締めくくりました。

当JAでは今後も食農教育を通じ、地域子ども達へ命をつなぐ「食」の大切さを伝えていきます。



よいしょ！
よいしょ！

は〜い、あいのて
いきますよ

▲べったん！べったん！餅つきです

参 考 资 料

＜参考：SDGsの17の目標とJAが関連すると想定される取り組み例＞

| 目標 | 関連する取り組み例 |
|--|---|
|  <p>1 貧困をなくそう</p> | <p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出 ・組合員の所得向上 ・金融・共済サービスの提供 ・子ども食堂の運営・協力 ・基礎的サービスとしてのインフラ機能の提供(移動販売車など) ・インフラ機能の提供を通じたJAの存在意義の発揮 |
|  <p>2 飢餓をゼロに</p> | <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者の所得増大/農業生産の拡大 ・農業振興と食料の安定供給 ・生産基盤の維持 ・発展途上国における農業・農協支援 ・環境保全型農業の推進 ・伝統野菜の生産振興 ・生物多様性の維持 ・子ども食堂・フードバンクの運営・協力 ・福祉サービスの提供(JA版地域包括ケア等) ・移動販売 ・食料・農業(6次産業化等)にかかる製造業に対する投融资の推進 ・食農バリューチェーンの構築 |
|  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> | <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療(地域医療・へき地医療・診断所・歯科等)や福祉事業の提供 ・健康づくり・介護予防活動 ・子育て関連事業 ・よい食プロジェクトの推進 ・交通安全啓発活動(安全教室) ・農業リスク診断活動 ・障害者雇用、農福連携の推進 |
|  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> | <p>すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習 ・持続可能なライフスタイル教育 ・子育て支援サービスの提供 ・食農教育の実施 ・女性大学の実施 ・新規就農支援サービスの提供 |
|  <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> | <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性理事・女性総代等の登用促進 ・女性管理職の登用促進 ・女性農業者の新規就農・経営管理支援の促進(家族経営協定など) ・子育て支援事業 ・女性が働きやすい職場環境づくり |
|  <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> | <p>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田による水資源の保全 ・水資源生態系の保護 ・インフラ機能としての飲料水の安定供給(店舗・移動販売車など) ・水利管理等にかかる集落組織への地域住民の参画促進(人・農地プランなど) ・プラスチックゴミ等の不法投棄の撲滅 ・肥料・農薬の適切利用に関する営農指導 |

| | 目標 | 関連する取り組み例 |
|--|--|---|
|  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> | <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー(節電、節水など)技術および資材の普及 ・再生可能エネルギー(太陽光、小水力発電)、バイオマス発電事業の活用 ・エネルギー効率の良い生産・輸送・販売方式の推進(直売所の活性化など) |
|  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> | <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産、金融イノベーション ・食品産業等にかかる中小零細企業に対する融資の強化 ・移動店舗車、JA ネットバンク、JA バンクアプリ ・働き方改革 ・障害者雇用、農福連携の推進 ・農泊事業(グリーンツーリズム等)の持続可能な観光業の推進 ・農業従事者への各種支援(新規就農者等にかかる移住定着支援の推進、労働力支援、ICT 技術を活用した技術の導入など) |
|  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> | <p>強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・農業への ICT 等の先進技術の普及・促進 ・研究開発、研究者支援 ・省エネルギー(節電・節水など)技術および資材の普及(特に CO2 削減) |
|  <p>10 人や国の不平等 をなくそう</p> | <p>各国内及び各国間の不平等を是正する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ経営の推進 ・人権問題の啓発活動 ・国内外のフェアトレードの促進 ・農福連携の推進 ・100 歳プロジェクトの推進 ・外国人労働者の不当な取り扱いの撲滅 |
|  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> | <p>包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・都市農業の維持・推進 ・都市農村交流の推進(直売所間連携、農泊など) ・交通安全の取り組み ・災害救援活動 ・「和食;日本人の伝統的な食文化」にかかる情報発信 ・世界農業遺産、日本農業遺産の普及・推進 ・防災・減災の取り組み ・地域の見守り・助け合い活動 ・施設のバリアフリー化の推進 ・農業の多面的機能の提供を通じた JA の存在意義の発揮 |
|  <p>12 つくも責任 つかう責任</p> | <p>持続可能な生産消費形態を確保する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全確保、食の情報開示 ・食品ロスの軽減(売れ残り、規格外品の利活用) ・プラスチックゴミ等の不法投棄の撲滅 ・消費者教育 ・フードバンク・リサイクル事業等を通じた資源効率の改善 ・紙資源等の3Rの推進・使用削減 ・よい食プロジェクトの推進(フードロス削減、エシカル消費の推進など) ・肥料・農薬の適切利用に関する営農指導 ・農業生産における環境負荷の軽減と持続可能なライ |

| | 目標 | 関連する取り組み例 |
|---|---|--|
|  <p>13 気候変動に 具体的な対策を とる</p> | <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p> | <p>フスタイルの提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害を想定した事業継続計画 (BCP) の策定 ・気候変動に対応した品種・品目への転換等 ・CO2 排出削減 ・流通段階での省資源・エネルギー効率化など ・土壌診断等による保全、農作物の高温障害対策 ・多面的機能を有する農地の保全 ・防災・減災の取り組み (地方公共団体、遠隔JA等との防災協定の締結など) |
|  <p>14 海の豊かさを 守ろう</p> | <p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・漁協連携 ・MSC・ASC認証商品の積極的な活用 ・プラスチックゴミ等の不法投棄の撲滅 ・肥料・農薬の適切利用に関する営農指導 ・土壌の流出防止 ・水質浄化機能 |
|  <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> | <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・森組連携 ・間伐材やFSC認証商品の利用促進 ・紙使用削減 ・耕作放棄地の発生抑制・利活用の推進 ・土壌診断等土壌の質的劣化や連作障害の防止にかかる営農指導 |
|  <p>16 平和と公正を すべての人に とる</p> | <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守り活動(児童・女性・要介護者等虐待牽制) ・マネーロンダリング防止対策 ・コンプライアンス態勢の確立 ・参加型意思反映(公正) ・アクティブ・メンバーシップの確立及び推進 |
|  <p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p> | <p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・協同組合間・農林漁商工業団体との連携 ・地方公共団体との連携協定の締結 ・地域の多様な組織(RMO)との連携 ・ICA、JCA等との連携 |

<JCA 資料等参照・全中作成>

自己改革 実践中!



©よい食プロジェクト

